

## ■ 目指すもの

みどりの「再生」と「創出」を一体的に推進し、自然と都市が調和する神戸ならではの都市価値とブランド力を高め、国内外から選ばれる神戸をつくる。

### 2本の柱



### 世界的な潮流

- ✓ 気候変動対策・自然資本への関心の高まり
- ✓ レジリエントな都市づくりへの転換
- ✓ 都市の緑化・グリーンインフラの推進

### 神戸の強み

- ✓ 震災復興の経験と災害に強いまちづくり
- ✓ 都心に近接した海と山
- ✓ 先人たちから受け継いだ豊かな自然環境

## ■ 目標

### 課題

里山資源の  
利用停止

樹木の  
大木化・老齢化

暗い森への遷移

放置竹林の拡大

獣害被害の拡大

都市の暑熱環境悪化

景観の悪化

倒木・土砂災害  
リスクの増大

里山管理の  
担い手不足

里山関連  
産業の衰退

農村部の  
人口減少・高齢化

農村文化の衰退

生物多様性の低下

## 01

### レジリエントな 都市基盤の構築

倒木・土砂災害等のリスクを計画的に低減し、緑の防災機能を活かして都市全体の災害対応力を高め、安心・安全で持続可能な都市環境を実現する。

## 02

### 資源循環を軸とした 里山・地域経済の再生

森林資源の循環利用の拡大と多様な価値創出を通じて、里山の再生と地域内経済・文化・コミュニティの活性化を図り、持続的に魅力が高まる地域を実現する。

## 03

### 良質な緑による ウェルビーイングの向上

緑の質の向上と快適な公共空間の創出により、暑熱緩和や景観性を含む都市環境と生活の質を高め、ウェルビーイングに寄与する魅力ある都市を実現する。

### 3つの目標

森林・里山の再生

11億85百万円

まちの緑化

15億3百万円

関連予算の規模

26億88百万円

## ■ 予算の柱

01

資源循環の  
仕組みづくり

森林・里山資源に新たな価値を見出し、地域の生業として成立させるための仕組みを作る



670 百万円

02

森林・里山に関わる  
人材の確保・育成

里山の持続的な管理体制を確立するために、農村地域の活性化を図るとともに、里山関連産業を育成する



220 百万円

03

森林・里山との  
関係の再構築

自然との関わりを身近に感じられる機会を創出し、希薄化した森林・里山と人との関係を再構築する



293 百万円

04

緑化による豊かな  
都市空間の形成

良質な緑を整備し、人と人がつながる憩いの場や、快適な都市空間を創出する



1,503 百万円

## ■ 主な取り組み ～資源循環の仕組みづくり（1/2）～

### ① 広葉樹の伐採・搬出

- 資源量調査の結果に基づき、購入企業とのマッチングを進めるとともに、材積130m<sup>3</sup>程度の搬出を目標に広葉樹林の伐採・搬出を行う

### ② 木材ストックヤードの拡充

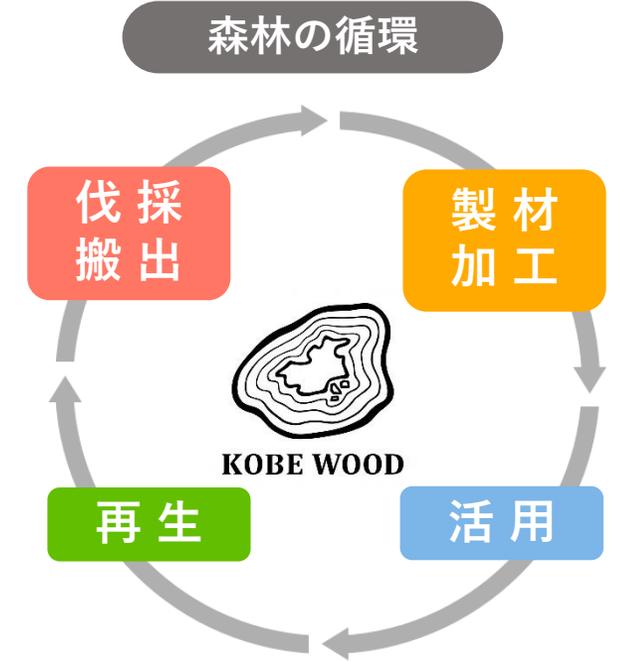
- 木材流通機能の強化を図るため、しあわせの村の木材ストックヤードの敷地拡張・保管棟の新設等を行う

### ③ KOBE WOOD普及促進補助制度の創設

- 神戸市産材（KOBE WOOD）の利用・普及を促進するため、
  - ①民間施設等における内装木質化・木製品導入
  - ②家具・食器・文房具・玩具等の製品製作
 に係る経費の一部を補助する [補助率1/2等・最大200万円]

### ④ 広葉樹林伐採後の管理手法の検討

- 広葉樹林伐採後の再生手法を確立するため、再生状況の追跡調査、管理手法の検討を行う



## ■ 主な取り組み ～資源循環の仕組みづくり（2/2）～

### ① 拡 KOBE備長炭実証事業

- しあわせの村に備長炭の炭窯・建屋を建設し、里山や公園緑地のカシ類を用いてKOBE備長炭の製造を行う  
[2026年度中、炭窯完成予定]

### ② 新 有害鳥獣処理拠点施設の整備

- 有害鳥獣対策を持続的に実施するため、捕獲個体の受け入れやジビエの処理・人材育成等を行う拠点を整備する

### ③ 継 竹林の伐採・竹材の活用

- 放置竹林の拡大を阻止するため、竹伐採機による竹林の伐採、竹伐採セットの貸し出しを行う
- 竹管理拠点で集積・チップ化し、堆肥利用の試験を行う

### ④ 継 古材活用プロジェクト

- 古材のストックヤード（BIVOUARC、2026年1月開設）において、古材の保管・展示、普及啓発を行う



竹伐採機

## ■ 主な取り組み ～森林・里山に関わる人材の確保・育成（1/2）～

### ⑧ 拡 こうべ森と木のプラットフォームを核とした連携・人材育成

- 公民共創の場である「こうべ森と木のプラットフォーム」を核に、森林整備・木材活用に関わる多様な主体との連携を進める
- 企業向けの森林ツアーや、広葉樹林の整備・資源活用をコーディネートできる人材の養成講習を行う



### ⑨ 新 多様な担い手就農支援

- 耕作放棄地等を農政公社が借り受け、地域団体・NPO・大学・企業などによる農業体験・実証実験等の多様な農地利用を可能とする「だれでも農園」をモデル実施する
- 親元就農を含む新規就農者の経営継承にかかる費用の一部を補助する [機械等の導入 | 補助率3/4 等]

### ⑩ 新 里山住宅の供給検討

- 農村集落の新たな担い手を確保するため、市有遊休地を活用した新築戸建て住宅の供給を検討する

## ■ 主な取り組み ～森林・里山に関わる人材の確保・育成（2/2）～

### ⑧ 農村エリアの空き家活用促進

- 空き家調査の強化と所有者への訪問面談・伴走支援により、バンク未登録の空き家の登録へつなげ、移住・起業希望者とのマッチングを促進する

### ⑨ 神戸ネクストファーマーの推進

- 働きながらも小規模農地で農業を始められる神戸ネクストファーマー制度により、多様な層の参入を促進する

### ⑩ 神戸農村スタートアッププログラムの実施

- 農村での起業を支援する神戸農村スタートアッププログラムにより、新たな人材と事業創出による農村活性化を図る

### ⑪ こうべため池再生プロジェクト

- 農業用ため池の魅力創出や持続可能な維持管理を検討するため、調査・分析等を実施する



## ■ 主な取り組み ～森林・里山との関係性の再構築（1/2）～

### ① 里山に親しむ人材育成拠点の整備

- 五社駅前市の市有地を活用し、里山と都市を繋ぐ人材の育成、多様なプレイヤーの参画を促進する拠点を整備する  
[2026年秋頃プレオープン、2027年秋頃本格オープン予定]



五社駅前市有地

### ② 道の駅淡河の駐車場拡張／淡河町親水空間整備

- 地域資源との連携を見据え、道の駅淡河の駐車場を拡張するとともに、農村里山の自然を楽しむ親水空間を整備する [2029年度供用開始予定]

### ③ 神戸登山プロジェクト／マウンテンバイクコース整備

- 登山道やマウンテンバイクコース（森林植物園内）など自然に親しむ環境整備を進めるとともに、市民や企業が整備活動に参加する機会創出にも取り組む  
[マウンテンバイクコース：  
2026年3月中級コース、2027年度上級コース開設予定]



マウンテンバイクフォレスト神戸

## ■ 主な取り組み ～森林・里山との関係性の再構築（2/2）～

### 継 自然共生サイトの環境整備・活用促進

- 自然共生サイト（北区小河山林）内の森林・林道等の整備を行うとともに、KOBE里山自然共生センターを拠点として市民・企業向けの里山体験機会を創出する



### 継 森林整備活動への支援

- 森林・里山整備に取り組む団体の担い手発掘と活動活性化を図るため、地域貢献活動補助金の特別枠により補助を行う



### 新 木育を通じた地域活性化の促進

- 地域プレイヤーとの協働を通じて、森林資源に親しみを持ってもらうとともに、こども達の健やかな成長を促す「木育」を推進する

## ■ 主な取り組み ～緑化による豊かな都市空間の形成（1/2）～

### ① 拡 こうべ木陰プロジェクト

- 都心部を中心に木陰となる樹木を新たに植樹するとともに、樹木の生育を促すため、植栽柵拡幅や土壌改良、灌水作業等を実施する



植樹柵の拡幅と土壌改良

### ② 拡 ポートアイランド（第2期）の緑化

- 緑化によるエリア価値の向上等を目指した緑化ビジョンを検討するとともに、医療センター駅周辺の中央緑地軸の高質化や、主要街路の街路樹再整備を行う



ポートアイランド中央緑地軸

### ③ 拡 ウォーターフロントの緑化

- 新港第1・第2突堤間のマリーナ開業に向け、マリーナ周辺緑地空間を整備する

### ④ 拡 駅前広場等の緑化

- 神戸駅や西神中央駅等の駅前広場において、植樹や大型プランターなどにより、緑豊かな駅前空間を創出する

## ■ 主な取り組み ～緑化による豊かな都市空間の形成（2/2）～

### ① 街路樹の再整備

- 街路樹再整備方針に基づき、良好な街路景観の形成を目指し、街路樹の適正化や高質化、安全対策に取り組む



### ② 環境に配慮した舗装への転換

- 路面温度を抑え、歩行空間の快適性の向上と樹木の生育環境の改善を図るため、きらら広場等において、木質系舗装や保水性舗装等の導入を進める

### ③ 公園樹林環境の改善

- 安全で、明るく見通しの良い空間を作るため、都市公園や緑地内の樹林を除間伐する



### ④ 公園樹木・街路樹の資源利用

- 公園樹林・街路樹整備等で発生した伐採木の木材、薪、チップ化へのカスケード利用を試行する